

性感染症ってどんな病気？

～ 「ひとごと」ではなく「身近なこと」 ～

「じぶんだけは大丈夫！」って思っていない？

じぶんのために

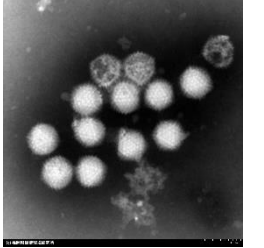
大切な人のために

正しく知ろう性感染症



▶ 感染症とは

細菌やウイルスなどの病原体が、空気や水などの身の回りの環境や食物を介したり、または動物、昆虫や人などとの接触を介して、人の体の中に入って、かつ増殖して様々な症状を引き起こす病気のことを「感染症」と言います。



〔アデノウイルス〕

▶ 感染のしかた

感染のしかたは、接触感染、飛沫感染、空気感染の3つに大きく分けられます。

	感染のしかた	主な感染症
接触感染	・ 病原体が付着しているものに触れ、口や粘膜、傷口から感染	ノロウイルス、梅毒 等
飛沫感染	・ 病原体が含まれる咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことで感染	インフルエンザ、風しん、 新型コロナウイルス 等
空気感染	・ 空気中に浮遊している飛沫核(※)を吸うことによって人間の粘膜や結膜に接触し感染 ※ 飛沫核とは、飛沫が持つ水分が蒸発することにより内側の病原体が浮遊したもので、飛沫よりもさらに細かい微粒子であるため、空気中で長時間浮遊する	結核、麻しん 等



〔接触感染〕



〔飛沫感染〕



〔空気感染〕

▶ 性感染症って？

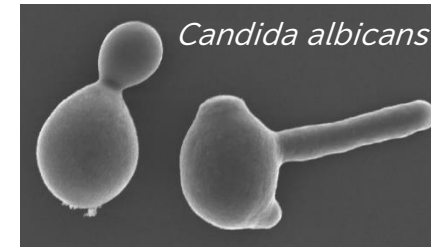
「性的接触で感染する病気」を総称して、「性感染症(STI(STD)※)」といいます。
細菌やウイルスなどの病原体が、性器、泌尿器、肛門、口腔などに接触することで感染します。

※STI(STD)とは、Sexually Transmitted Infections(Diseases)の略です。

性感染症にはいろいろあります。一つにかかって治っても、また同じ性感染症や他の性感染症にかかったり、一度に複数の性感染症にかかることもあります。

【性感染症(一部)】

- ・性器クラミジア感染症
- ・淋菌感染症
- ・梅毒
- ・HIV感染・AIDS(エイズ)
- ・性器ヘルペスウイルス感染症
- ・尖圭コンジローマ
- ・B型肝炎
- ・性器カンジダ症 など

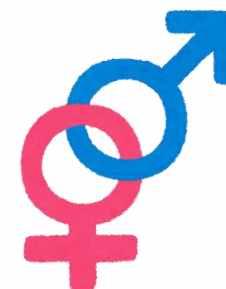


出典:国立感染症研究所ホームページ



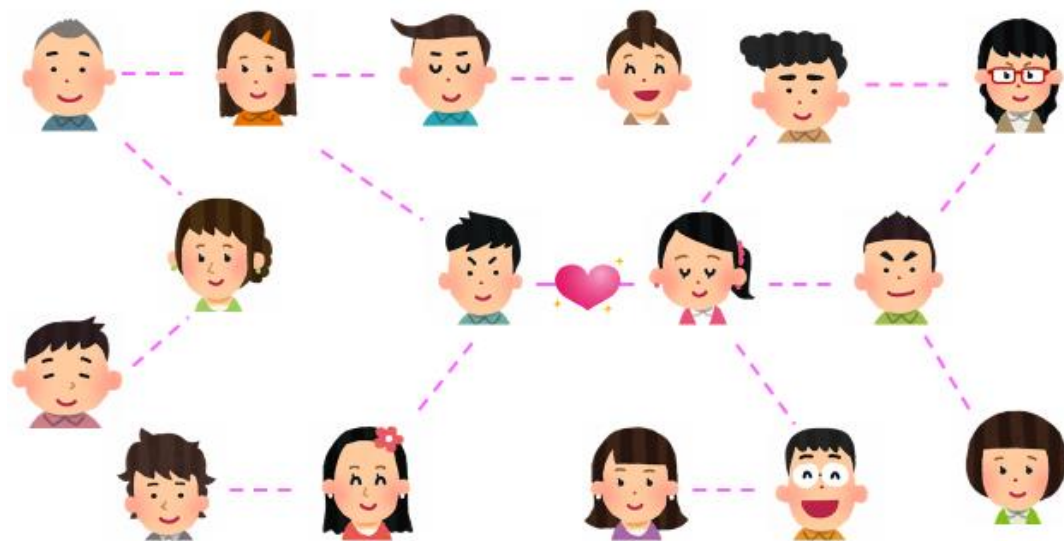
▶ 性感染症の感染のしかたは？

性感染症の多くは性的接触により感染します(接触感染)。
病原体を含む分泌液(精液、膣分泌液など)、血液などに直接接触することで、粘膜や傷口から感染します。



▶ 性感染症はなぜ拡がっていくの？

- ▶ 性感染症に感染しても、症状がない場合があります。
このため、感染した人が気づかないうちに他の人(パートナー等)に感染させてしまうことがあります。
- ▶ 性感染症は、性的接触の経験がある人ならだれでも感染する可能性がある病気です。
たった一度の性的接触でも、性感染症に感染することがあります。



▶ お腹の赤ちゃんに影響するの？

- 梅毒やクラミジア、HIVなどの性感染症は母親からお腹の赤ちゃんに感染する可能性があります(母子感染)。
- 母子感染が起きると、流産や死産の原因となったり、赤ちゃんが先天性の障がいをもったりすることがあります。



▶ もし、性感染症に感染していたらどうすればいいの？

- ▶ ほとんどの性感染症は、早めにきちんと治療すれば治ります。
医師の指示に従って、確実に治療しましょう。
- ▶ 気になる症状があったら早めに医療機関(泌尿器科、産婦人科、皮膚科、性病科、感染症科など)を受診しましょう。
- ▶ 性感染症は、一度治療して治っても免疫ができず、何度も再感染するものもあります。
パートナーも検査をして、お互いに感染しあうことがないようにしっかりと治療することが大切です。



▶ 症状が出てきたら、病院に行けばいいい…よね？

性感染症に感染しても自覚症状のない場合があります。
適切な治療を受けなければ、体の中で病気は進行します。

- ▶ 性感染症は症状が重くなることがあります
性感染症を治療しないでいると、骨盤内炎、肝周囲炎など重症化することがあります。
特に梅毒は、心臓、血管、神経など体の様々な機能に障害が現れることがあります。
- ▶ 性感染症は不妊症の原因になります
性感染症を治療しないでいると、子宮内膜炎、卵管炎、精巣炎などが起きることがあり、不妊の原因となります。



▶ 性感染症は早期発見・早期治療が大事！！

- ▶ 性感染症は早期に治療を始めることで、重症化を防げます。
- ▶ HIVに感染しても、早期に治療を開始することでエイズ発症を防ぐことができます。
- ▶ 多くの性感染症は、早期に適切な治療を行えば治癒します。



▶ 早期発見するためにはどうすればいいの？

- ▶ 感染症にかかっているかどうかは**検査**でわかります。
- ▶ 病気の種類によって、検査のタイミングや方法が違います。
- ▶ **症状がある方は医療機関を受診**しましょう。
- ▶ いくつかの性感染症についての検査は、保健所で**無料・匿名**で受けることができます。
不安がある方は保健所での検査・相談を考えましょう。



▶ 性感染症はどうすれば予防できるの？

▶ 性的接触をしない

性的な接触をしないことも予防のための選択肢のひとつです。

▶ 安全な性的接触

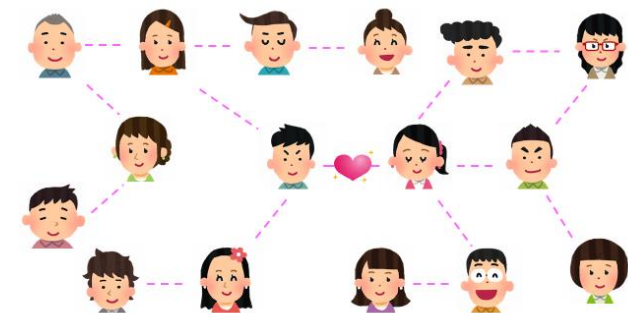
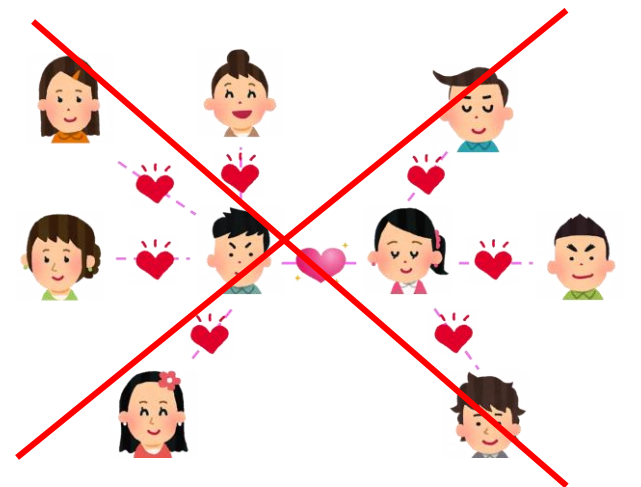
今は特定の相手しかいなくても、過去に他の人と性的接触があれば、過去のパートナーからの感染の可能性があります。自分もパートナーもお互いに感染がないことを確かめておくことが大切です。

また、不特定多数や見知らぬ相手とは性的接触をしないことも大切です。

▶ より安全な性的接触

コンドームを正しく使うことが予防には有効です。すべての性感染症が予防できるわけではありませんが、感染の危険性をかなり低下させることができます。

パートナーとコンドームの使用も含め、安全な性的接触についてよく話しましょう。感染を防ぐためにも、コンドームの正しい使用が大切です。



▶ 性感染症Q&A

Q1 1回の性的接触でも性感染症に感染する？

Q2 ピルは性感染症の予防に有効？

Q3 なぜ、コンドームが重要？

Q4 自覚症状のない人からも感染する？

A1 病気によって感染力は異なります。1回の性的接触でも感染することはあります。

A2 ピルは避妊のためのもので、性感染症の予防にはなりません。

A3 コンドームだけで、性感染症のすべてを予防することはできませんが、病原体を含んだ精液、膣分泌液が、粘膜に触れることを防いで、病原体が侵入することを防ぐので、感染の危険性をかなり低下させることができます。

性感染症の予防には、正しくコンドームを使用することが大切です。

A4 感染初期など自覚症状がわからないことがあるため、自覚症状のない人から感染することもあります。

▶ 性感染症Q&A

Q5 どこで検査は受けられる？

Q6 一度治療すれば、大丈夫？

Q7 なぜパートナーも受診する？

Q8 性感染症で受診したときにプライバシーは守られる？

A5 症状のある人は医療機関(泌尿器科、産婦人科、皮膚科、性病科、感染症科など)を受診しましょう。

不安のある人は保健所で相談や検査を無料・匿名で受けられます。

A6 ほとんどの性感染症は何度でも感染するおそれがあります。治療後も性感染症の予防に気を付けましょう。

A7 性感染症の多くは免疫ができません。このため、自分だけが治療しても、パートナーが感染していれば、再感染します。

A8 医療機関では、性感染症に関わらず、プライバシーを守りながら病気の経過や症状を聞き、診察や検査をしています。心配があれば、医師や看護師にそのことを話して、納得した上で診察を受けてください。



① HIV感染症/エイズ(後天性免疫不全症候群)

ヒト免疫不全ウイルス(HIV)により起こる病気です。病気が進行すると、次第に抵抗力が弱まり、健康な時なら心配のないウイルスや細菌、カビなどの病原体によって、色々な病気が引き起こされます。

病原体	ヒト免疫不全ウイルス	
潜伏期	数年～10数年	
症状	急性期	HIVに感染して2～4週間経過すると、発熱、咽頭痛、筋肉痛など、インフルエンザに似たような症状が出てきます。これらの症状は、多くの場合、自然に消えます。また、無症状のこともあります。
	無症候期	体の免疫力で、ウイルス量はある一定のレベルまで減少したところで安定し、その後、数年～10数年程度は症状がなく経過します。
	エイズ発症期	治療をしないでいると、HIV感染により免疫力が低下し、健康な時には病気にかからないような弱い病原体による日和見感染(ニューモシスチス肺炎や食道カンジダ症など)や悪性腫瘍の症状が現れます。
検査	血液検査をします。検査は感染したと思われる時から、60～90日以上経過してから受けることが必要です。	
治療	HIV感染症を完全に治療する薬はまだ開発されていませんが、複数の薬を組み合わせることで、エイズの発症を抑えながら感染する前とほぼ同じように生活することができます。	
感染経路	HIVは血液、精液、膣分泌液に多く含まれていて、粘膜や傷口から感染します。主な感染経路は性的接触感染、母子感染、注射針の回し打ちなどの血液を介しての感染となっています。	

赤ちゃんへの影響は？

妊娠前または妊娠中のできるだけ早い時期に感染の有無を確認し、出産前から適切な医療を受けることにより赤ちゃんへの感染確率を低くすることができます(1%以下)。また、母乳を介して赤ちゃんにウイルスが感染することがあるため、出産後は母乳での授乳を控える必要があります。

- ◇握手などの接触
- ◇咳やくしゃみ
- ◇トイレ
- ◇食器の共用

HIVはこんなことでは感染しません!

② 梅毒

梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。性的接触の際に粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。昔の病気と思われがちですが、近年患者数が増加しています。治療をしなければ、発疹やただれなどが、出てきたり消えたりしている間に病気が進行し、脳や心臓、血管などに病変ができることがあります。

病原体	梅毒トレポネーマ
潜伏期	約1か月(症状が早く出てきたり、遅れて出てきたり個人差があります。)
症状	症状がないこともあります。 症状が現れたり、自然に消えたりを繰り返すことがあります。治療しないと病気が進行します
	第1期 感染後約1か月で、感染した場所(性器、肛門、口など)に、できもの、しこり、ただれなどができます。治療しなくても、数週間で症状は消えます。
	第2期 感染後3か月程度経つと、手のひらや足の裏など全身に発疹ができます。治療しなくても、数週間～数か月で症状は消えます。
	潜伏梅毒 症状がないまま何年も経過することがありますが、皮膚や内臓で病気は静かに進んでいます。
	神経梅毒 数年～数10年後に、心臓、血管、神経の異常が現れることがあります。
検査	梅毒トレポネーマの検出または血液検査で診断します。検査は感染したと思われる時から、4週間以上経過してから受けることが必要です。
治療	抗菌薬が有効です。菌を死滅させることはできても、臓器などに生じた障害を元に戻すことはできません。早期の治療が大切です。パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。
感染経路	菌を排出している感染者との粘膜や皮膚の接触を伴う性的接触で感染します。妊婦から胎児に感染する可能性があります。
免疫	免疫はできません。何度も感染します。

赤ちゃんへの影響は？

妊娠中の母親が梅毒に感染すると胎盤を通じて胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、先天性の障がい(先天梅毒)が起こることがあります。妊婦健診では、梅毒の検査も行い、感染の有無を確認します。

コンドームをつけても100%防止できるわけではありません！

③ 性器クラミジア感染症

クラミジア・トラコマチスという細菌による感染症で、日本で最も多い性感染症です。自覚症状がない場合が多く、感染に気付かないことも多いです。進行すると、不妊症や母子感染などの原因になることがあります、きちんと治療する必要があります。

病原体	クラミジア・トラコマチス	
潜伏期	1～4週間	
症状	女性	無症状のことが多いですが、おりものが黄色くなり増える、生理痛のような痛み、不正性器出血などの症状があります。進行すると、骨盤内炎、卵管炎、肝周囲炎を起こして、重症化することがあります。
	男性	男性も無症状のことが多いですが、尿道がむずがゆくなったり、排尿時の軽い痛みといった症状があります。尿道分泌物による下着の汚れで気付くこともあります。
	新生児	母親から出生時に感染し、結膜炎や肺炎を発症することがあります。
検査	尿や尿道分泌液、おりもの、咽頭擦過物、咽頭うがい液に含まれるクラミジアを遺伝子学的検査で検出することで診断します。血液クラミジア抗体検査は、過去に感染し、治った人も陽性となることがあります。	
治療	抗菌薬が有効です。決められた期間きちんと服薬しないと菌が残ることがあります。パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。	
感染経路	クラミジアは、のど、直腸、尿にも存在します。	
免疫	免疫はできません。何度も感染します。	

症状がないからと言って、治療をしなかったら・・・

治療をしないと、女性では卵管炎、骨盤内炎、肝周囲炎などを起こし、子宮外妊娠、不妊症の原因となることがあります。また、妊娠中に感染すると、流産・早産の原因になることもあります。男性では治療しないと精巣上体炎を起こし、不妊症の原因となることがあります。

無症状や症状が軽いことが多いですが、**日本で最も多い性感染症です！**

④ 淋菌感染症

淋菌による感染症です。男性にはすぐにはっきりした症状が出ますが、女性は症状に気付きにくく、進行して初めて分かることがよくあります。近年は抗菌薬が効きにくい、薬剤耐性菌の報告もされています。

病原体	淋菌	
潜伏期	2～7日間	
症状	女性	症状がないことも多いです。症状がある場合は、緑黄色の濃いおりものや、尿道から膿が出ることがあります。進行すると、子宮内膜炎、卵管炎を起こし、子宮外妊娠、不妊症の原因となることがあります。
	男性	尿道のかゆみや熱っぽさから始まり、粘液や黄色の膿がでます。排尿時の痛みがひどくなり、性器全体が腫れ上がるほどの激しい症状が出ることもあります。進行すると、尿道狭窄(尿道が狭くなる)、精巣上体炎を起こし、不妊症の原因となることがあります。
	新生児	母親から出生時に感染し、化膿性結膜炎や関節炎を起こしたり、命に関わる状態になることがあります。
	その他	のどや直腸にも感染しますが、炎症はほとんど出ません。まれに血液から全身に広がり、関節炎や心内膜炎を起こすことがあります。
検査	尿や分泌液、おりもの、咽頭擦過物、咽頭うがい液を採って、培養検査をします。尿や分泌物で淋菌DNAを検査する方法もあります。	
治療	抗菌薬が有効ですが、耐性の淋菌も報告されています。治療の自己中断は、完全に治らず再発したり、耐性菌の発生をまねく可能性があるため、必ず医師の指示に従って治療しましょう。パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。	
感染経路	感染力は非常に強く、淋菌はのど、直腸、尿にも存在します。性的接触だけでなく、出産時の母親から新生児への母子感染も起きます。	
免疫	免疫はできません。何度も感染します。	

性感染症だけど、口腔内にも・・・

性器に淋菌が感染している人の10～30%で口腔内にも菌が認められるとの報告があり、他の人に感染させることがあります。

淋菌は感染力が強いです！

⑤ 性器ヘルペスウイルス感染症

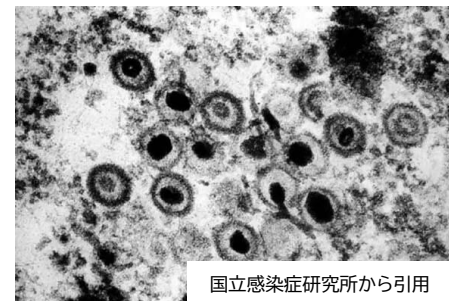
単純ヘルペスウイルスによる感染症です。一度感染すると、ウイルスが体の中に棲み続けて、免疫力が低下した時などに再発します。

病原体	単純ヘルペスウイルス1型又は2型。性器ヘルペスウイルス感染症は主として2型、口唇ヘルペスは主に1型によって起きます。	
潜伏期	3～7日間	
症状	症状がないことが多いですが、性器に小さい水ぶくれやただれができることがあります。激しい痛みのため、排尿困難や歩行困難を生じることがあります。治った後もウイルスは体の中に棲み続け、疲労や抵抗力が落ちた時などに再発することがあります。	
	<table border="1"> <tr> <td>新生児</td> <td>母親から出産時に新生児へ感染(産道感染)し、脳炎や内臓感染を起こして重症化することがあります。</td> </tr> </table>	新生児
新生児	母親から出産時に新生児へ感染(産道感染)し、脳炎や内臓感染を起こして重症化することがあります。	
検査	水ぶくれの内容液に含まれる感染細胞の検査や、血液検査、遺伝子検査で診断します。	
治療	抗ウイルス剤の内服や軟膏、抗炎症剤、鎮痛剤などで治療します。	
感染経路	性器、口唇周囲、肛門などから感染します。無症状でも性器の粘膜や分泌液などにウイルスが含まれている場合は感染します。	
免疫	一度感染すると体内にウイルスが残り、免疫力が低下した時などに再発することがあります。	

症状なくても… 一度感染すると…

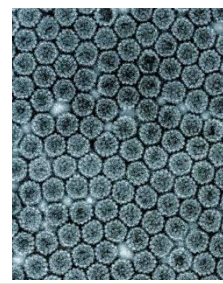
無症状でも性器の粘膜や分泌液中にウイルスが存在する場合には感染します。
抗ヘルペスウイルス剤を服用すれば、いったんは治癒しますが、単純ヘルペスウイルスは一度感染すると神経節に潜伏し、免疫力が低下した時などに再度活性化するため、長年にわたって再発を繰り返します。

一度感染すると、ウイルスが体の中に
棲み続けます！



国立感染症研究所から引用

単純ヘルペスウイルス2型の電子顕微鏡写真



パピローマウイルス粒子

出典：国立感染症研究所
ホームページ

⑥ 尖圭コンジローマ

ヒトパピローマウイルス(HPV)による感染症です。外陰部に小さな尖ったイボができます。痛みやかゆみなどの自覚症状もほとんどないので、感染に気付かないことがあります。

病原体	ヒトパピローマウイルス(HPV)	
潜伏期	数週間～3か月	
症状	淡紅色または褐色の小さな尖ったイボが外陰部から膣内や肛門にできて、集まると小さなカリフラワー状になります。普通は自覚症状はありませんが、大きさやできた場所により痛みやかゆみを感じたりすることがあります。ウイルスに感染してもイボができないこともあります。	
	妊婦	妊娠中にはイボが大きくなることがあります。
	新生児	母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、喉頭乳頭腫などを発症させることがあります。
検査	特徴的なイボを確認することで診断します。	
治療	外科的治療や薬物塗布を行います。外科的治療法としては、切除、電気焼灼、液体窒素による凍結療法、CO ₂ レーザー蒸散などがあります。	
感染経路	ウイルスはイボの中に多く、性的接触の時に皮膚や粘膜の微小な傷から侵入します。	
免疫	免疫はできません。何度でも感染し、しばしば再発します。感染を予防するワクチン(任意接種)があります。	

ヒトパピローマウイルス(HPV)について

ヒトパピローマウイルス(HPV)は、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスで、子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等、多くの病気の発生に関わっています。特に、近年若い女性の子宮頸がん罹患が増えています。HPV感染症を防ぐワクチン(HPVワクチン)は、小学校6年～高校1年相当の女子を対象に、定期接種が行われています。

ヒトパピローマウイルス(HPV)は、尖圭コンジローマだけでなく、**子宮頸がんなど**多くの病気の発生に関わっています。



膾トリコモナス原虫(顕微鏡写真)

出典: CDC(Centers for Disease Control and Prevention)ホームページ

⑦ トリコモナス症

トリコモナス原虫による感染症です。一般に、女性に強い症状が出ます。
 症状が出ない場合でも、治療をしないと他の人に感染させることがあります。

病原体	トリコモナス原虫(膾トリコモナス原虫)	
潜伏期	1～3週間	
症状	女性	強い悪臭がする白色から黄色の泡状のおりものが大量に出てきます。膾炎を起こし、陰部がかゆくなったり、痛くなったりします。膾性交の時や排尿時に痛みが生じます。症状が出ないこともあります。
	男性	排尿時の痛みや頻尿、前立腺炎を起こすことがあります。無症状のことが多いです。
	妊婦	妊娠中に感染すると、早産になることがあります。
検査	おりもの、尿や尿道分泌液を顕微鏡で検査します。必要に応じて培養検査を行います。	
治療	抗微生物薬の内服や膾錠で治療します。治療は、必ず医師の指示を守るようにしましょう。必ず医療機関で診断を受け、パートナーと一緒に完全に治しましょう。	
感染経路	性的接触により感染します。その他、下着やタオルなどからの感染も知られています。	
免疫	免疫はできません。何度も感染します。	

トリコモナス症について

膾トリコモナス原虫という名前や、男性の症状が女性に比べて軽いことから、「男性にはうつらない」と勘違いをされがちですが、その情報は誤りです。男女どちらにも感染し、たとえ無症状であったとしても、治療をしない限り完治しません。

トリコモナス症の人は 淋菌感染症やクラミジア感染症にもかかっていることが多いため、通常は他の性感染症の検査も行います。

女性特有の感染症ではありません。
男性も感染します！

⑧ 性器カンジダ症

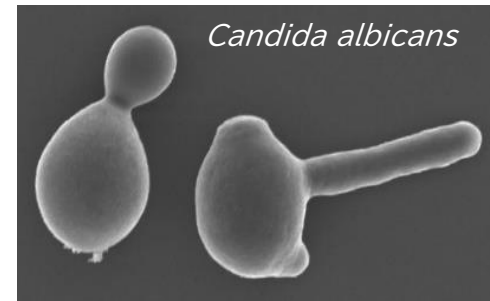
真菌(カビ)のカンジダ属による感染症です。性的接触で感染しますが、健康な人でも体内に持っていることがあります。感染したからといってすぐに発症するわけではなく、抵抗力が落ちた時などに発症します。

病原体	カンジダ・カンジダ属	
潜伏期	何年にも及ぶことがあります。	
症状	女性	陰部に強いかゆみがあります。おりものが白く、ヨーグルト状になったり、かたまりができます。また、性器の炎症(痛みや熱感)、膣性交の時に痛みが生じることもあります。
	男性	無症状又はかゆみがあります。性器の先端が赤くなったり水泡ができることもあります。
検査	分泌液を顕微鏡で検査します。必要に応じて培養検査を行います。	
治療	治療が必要な場合は、抗真菌剤の入ったクリーム、膣剤などを使用します。抗菌薬、ステロイド、免疫抑制剤では悪化するので、必ず医師の指示に従って治療しましょう。抗真菌薬は胎児移行性が強いので、妊娠中は基本的に局所療法を行います。	
感染経路	潜伏期間が長く、感染経路は様々なので、いつ感染したのかわからないことも多いです。常在菌として持っていたものが増殖すると、性的接触で感染する場合があります。	
免疫	ワクチンや予防薬はありません。しばしば再発します。	

日和見感染症とは

病気に対する抵抗力(免疫力)の低下により、通常、健康なときには体の中に入っても病気を起こさないような弱い病原体によってもかかってしまうさまざまな感染症や病気のことです。性器カンジダ症もその1つです。

性器カンジダ症は、**日和見感染症の1つです！**



⑨ B型肝炎

正常の肝臓に短期間で広汎な壊死が生じ、進行性の黄疸、出血傾向及び精神神経症状(肝性脳症)などの肝不全症状が出現する病態である。
 肝実質の急速(通常は数日ないし数週間以内)かつ広範な壊死と肝臓の縮小(急性黄色肝萎縮症)を特徴とするまれな症候群
 全く機能しなくなってしまう病気

B型肝炎ウイルス(HBV)による感染症です。感染すると肝炎を発症したり、ウイルスキャリアとなることがあります。大人になってからの感染は劇症肝炎を発症することもあります。

病原体	B型肝炎ウイルス(HBV)	
潜伏期	急性肝炎の場合1～6か月	
症状	急性	症状は比較的ゆっくり出ます。微熱、食欲不振、だるさ、吐き気、嘔吐、みぞおちの右側の痛み、お腹が張るなどの症状がみられ、引き続き、黄疸(皮膚や眼球結膜の黄染)が出てきます。多くの場合は、これらの症状は1か月程度で回復します。時に、急性肝炎は劇症化することがあります。
	慢性	免疫がまだ十分でない乳幼児や、抵抗力が弱っている大人が感染すると、ウイルスは体内から排除されず、体内に保有した状態(キャリア)になります。はっきりした症状が出ないまま、気が付かないうちに肝硬変や肝がんに行進することがあります。
検査	血液検査により診断します。検査は感染したと思われる時から、100日(3か月程度)以上経過してから受けることが必要です。	
治療	治療によりウイルス量を減らし、肝障害の進行を抑えることができるので、早期に発見し、治療することが大切です。	
感染経路	血液、精液、膣分泌液に多く含まれていて、粘膜や傷口から感染します。主な感染経路は、性的接触による感染、母子感染及び注射針の回し打ちなどの血液を介しての感染となっています。	
免疫	感染を予防するワクチンがあります。平成28年(2016)年10月から乳児の定期予防接種になりました。	

劇症化・劇症肝炎について

大人になってからの感染で慢性化するのは5%未満とされていますが、近年、慢性化率が高い遺伝子型のウイルスによる大人の感染者が増加傾向にあります。また、大人での感染は劇症肝炎に進展することがあります。劇症肝炎は、短期間で肝臓に広汎な壊死が生じ、肝不全症状となるため、命を失うことも少なくありません。

劇症肝炎は命を失う危険性もあります！！

⑩ A型肝炎

A型肝炎ウイルス(HAV)による感染症です。

主にウイルスに汚染された食物などを摂取したり、ウイルスが付着した手で口に触れることで感染します(経口感染)。また性的接触により感染することもあります。

感染すると急性の肝障害が起こり、慢性化することはないが大部分は治りますが、劇症化することもあります(1%以下)。

病原体	A型肝炎ウイルス(HAV)
潜伏期	15～50日(通常28～30日)
症状	強い全身倦怠感、発熱、吐き気、嘔吐、食欲の低下、みぞおちの痛みなどがみられ、引き続き黄疸(皮膚や眼球結膜の黄染)が出現します。乳幼児の感染では症状が軽く、無症状となること(不顕性感染)が多いです。
検査	血液検査により診断します。
治療	多くの人は安静により自然に改善します。食事や水分摂取ができないときに点滴を行うなどの対症療法がなされます。劇症化した時には、劇症肝炎の治療がされます。
感染経路	A型肝炎ウイルスは便中に排泄されます。衛生水準が低い環境でA型肝炎ウイルスに汚染された水や食べ物を摂取することで感染したり、性的接触により感染したりします。
免疫	一度A型肝炎にかかると体の中に抗体が作られ、10年以上にわたり存在するため再発はまれです。感染の予防には、ワクチン接種が有効です。曝露後予防には免疫グロブリンが投与されることもあります。

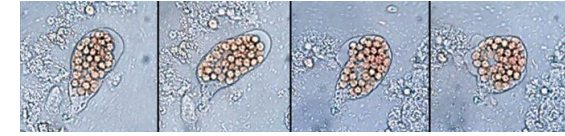
A型肝炎ワクチンについて

予防には、予防接種が効果的です。ワクチンを初回接種したのち2～4週間あけて2回目を接種すれば、抗体をほぼ獲得することができます。長期間、抗体を維持するためには、初回接種から24週間以上あけて3回目のワクチン接種をすることが望ましいとされています。また、感染の機会の後、2週間以内にワクチンを接種することで予防する効果があると言われています。

食べ物や飲み物からだけではなく、**性的接触でも感染します！！**

⑪ アメーバ赤痢

赤痢アメーバ原虫による感染症です。症状は様々で、発熱、腹痛や下痢、イチゴゼリー状便、しぶり腹などの症状があり、肝臓などの臓器に膿瘍を形成することもあります。



赤痢アメーバ

出典:国立感染症研究所
ホームページ

病原体	赤痢アメーバ原虫
潜伏期	2～3週間(数か月～数年のこともあります。)
症状	アメーバ性大腸炎では、腹痛、下痢、イチゴゼリー状便、しぶり腹(排便しても少量で頻回に便意をもよおす)などの症状が出ます。発熱はあっても軽度です。アメーバ性肝膿瘍では、発熱、腹痛、吐き気、嘔吐などの症状が出ます。まれに肺や脳、心臓などにも病気による変化が起こります。
検査	糞便検査、大腸内視鏡検査、CT、エコーにより診断します。
治療	メトロニダゾールを投与します。膿瘍にドレナージが行われることがあります。糞便中にシスト(嚢子)が残存する場合にはパロモマイシンが投与されることがあります。
感染経路	シスト(嚢子)は便中に排泄されます。衛生水準が低い環境で、シスト(嚢子)に汚染された飲み物や食べ物を摂取することで感染したり、性的接触により感染したりします。
免疫	ワクチンや予防薬はありません。

赤痢アメーバシスト(嚢子)について

赤痢アメーバ原虫は殻で覆われた卵のようなシスト(嚢子)に姿を変えて、水や食物の中でも数日から数週間は生き延びることができます。水や食物などと一緒に赤痢アメーバのシスト(嚢子)を人間が摂取して感染します。人間のお腹の中で赤痢アメーバはシストから飛び出し、症状を引き起こします。

食べ物や飲み物からだけでなく、**性的接触でも感染します！！**

保健所での性感染症検査について

福岡県内の保健所では無料・匿名でHIVや梅毒の検査を受けることができます。また、性器クラミジア感染症や淋菌感染症の検査も受けられる所があります。HIVや梅毒の検査は血液検査(採血をします。)、性器クラミジア感染症や淋菌感染症の検査は尿による検査です。いずれも確定診断ではないので、感染の疑いがある場合は医療機関への受診が必要です。

※未成年者の場合、保護者の同意が必要な場合があります。



無料・匿名で

性感染症の検査を受けることができます。

⚠ 性感染症は、誰でも感染する可能性があります。
⚠ 性感染症は早期発見が大事です。検査を受けに行きましょう！

福岡県内の性感染症(HIV、梅毒、クラミジア、淋菌)検査実施保健所一覧

令和5年9月1日現在

保健所	相談・予約電話	定例検査 (年間を通じて検査しています)						
		曜日	時間	備考	検査項目			
					HIV	梅毒	クラミジア	淋菌
北九州市	093-522-8727 093-522-8764 (検査予約電話)	第1月 休日の場合は第2月	17:00~19:00	要予約 先着25名	★			
		6・12月は 第1日曜	9:00~11:00	要予約 先着25名				
	093-582-3440	火	9:00~11:00	要予約	○	○	○	
	093-642-1444	水	9:00~11:00	要予約	○	○	○	
福岡市	092-651-8391	第1・3火	9:00~11:00		○	○	△	
	092-441-0023	第2・4木	9:00~11:00		○	○	△	
		第2・4水	16:00~18:00					
	092-712-8391	第1・3火	9:00~11:00	要予約	★			
	092-541-8391	第3火	9:00~11:00		○	○	△	
	092-822-8391	第1・3水	9:00~11:00		○	○	△	
	092-846-8391	第1・3水	9:00~11:00		○	○	△	
092-891-0391	第3月	9:00~11:00		○	○	△		
久留米市保健所	0942-30-9340 0942-30-9730 (検査予約電話)	水	9:00~11:00	要予約	○	○	○	

保健所	相談・予約電話	定例検査 (年間を通じて検査しています)						
		曜日	時間	備考	検査項目			
					HIV	梅毒	クラミジア	淋菌
福岡県 保健福祉(環境)事務所	092-582-2522	火	9:00~10:30	要予約	★	★	△	△
	092-939-1746	火	9:00~11:00	要予約	○	○	△	△
	092-322-5579	火	10:00~11:00	要予約	○	○	△	△
	0940-36-6098	火	9:30~11:00	要予約	○	○	△	△
		第1月	14:00~15:00	要予約	○	○	△	△
	0948-23-5911	火	9:30~10:30	要予約	★	★	△	△
		第1月	13:10~14:10	要予約	○	○	△	△
	0947-42-9379	火	13:30~14:15	要予約	★	★	△	△
	0946-22-4190	第3月	9:30~10:30	要予約	★	★	△	△
		第4木	9:30~10:30	要予約	★	★		
	0944-72-2812	火	10:00~11:00	要予約	★	★	△	△
	0930-23-3935	第2・4火	9:00~10:00	要予約	★	★	△	△

「検査項目」マークの意味と補足

- ★：血液検査(結果は約1時間後)、無料
- ：血液検査(結果は1週間後、福岡市のみ2週間後)、無料
- △：尿検査(結果は1週間後、福岡市のみ2週間後)、無料

検査について、ご不明な点は
各保健所へお問い合わせください。

梅毒って？

梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる**性感染症**です。

どうやって感染するの？

性的接触の際、性器の粘膜や皮膚が病変部に直接触れることで感染します。

どんな症状がでるの？

梅毒に感染すると、右のような症状が現れることがあります。
ただし、梅毒特有の症状というわけではなく、**症状が全く現れないこともあります。**

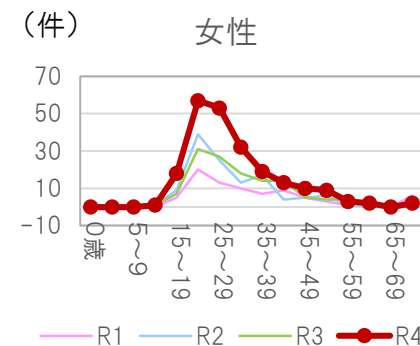
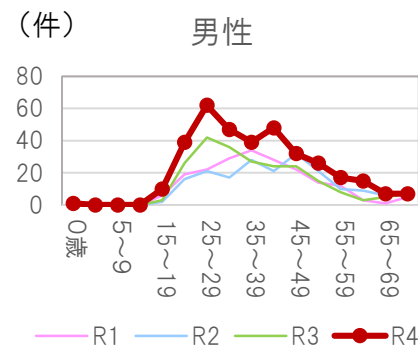
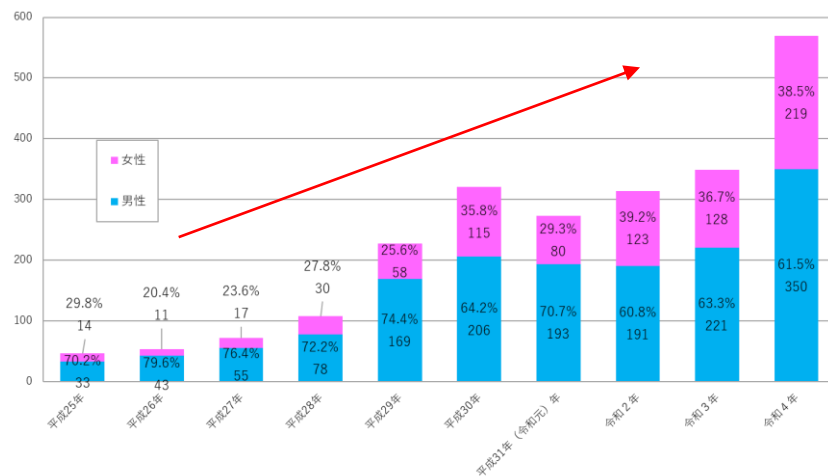
感染者が増えているの？

全国、福岡県ともに梅毒の感染者が増加しています。
福岡県の令和4年の感染者報告数は過去最高となっており、令和5年は、**既に過去最高であった昨年の報告数を上回っており**、
今もなお、感染が拡大しています。

年代別でみると、**20～40代の男性、10代後半から30代前半の女性**の感染者が増えています。

決して他人事ではない！！

梅毒



3週間～
(1期)

・口や性器などに**しこり**や股の付け根部分のリンパ節が**腫れる**。

※**痛みがないことも多く、治療をしなくても約1か月ほどで消えてしまうこともあり、治ったように思いますが、病原体がいなくなったわけではありません。**

3か月～
(2期)

・手のひら・足の裏に**カサカサした発疹**や「**バラ疹**」と呼ばれる**赤い発疹**ができる。

3年～
(3期)

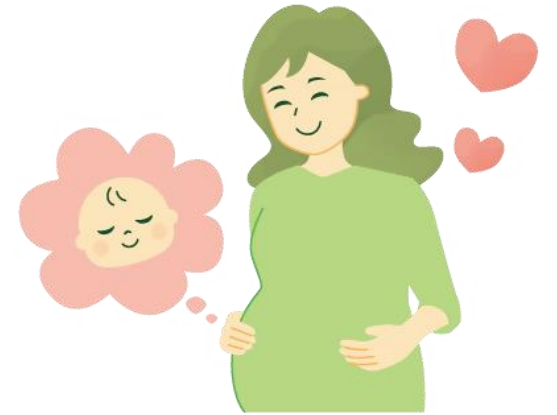
・全身に**炎症**や皮膚や筋肉、骨などに**ゴムのよう**な**腫瘍**ができる。

10年～
(4期)

・脳や心臓、血管などに**病変**ができる。

お腹の赤ちゃんに影響するの？

妊娠中の母親が梅毒に感染すると胎盤を通じて胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、先天性の障がい(先天梅毒)が起こることがあります。



どうすれば予防できるの？

性的接触のときには、必ずコンドームを使用する。

▶勃起したら挿入前から必ずつけておく

(注)コンドームをつけても100%予防できるわけではありません。

不特定多数の相手と性的接触をしないことも感染予防の大きなポイントです。



もしも梅毒にかかってたらどうすればいいの？

抗菌薬による治療が必要で、きちんと治療すれば治ります。

また、必ずパートナーにも検査を受けてもらい感染がわかったら一緒に治療を受けましょう。

梅毒に対する免疫はできません。いったんは完治しても、パートナーが感染者であれば、再び感染することがあります。

